

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-382-4809

年度	平成30年度		
施設名	新潟市横越地区勤労者総合福祉センター	所属部・課	江南区産業振興課
施設の設置目的	勤労者に文化、教養、研修、スポーツ等の場を提供し、もって勤労者の福祉の増進を図ります。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	2018.5.31
歳入	2,053	正職員		修正日	
歳出	10,016	非常勤		評価日	R1.7.11

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標					H30結果
1	市民	基準利用者数の達成	年間利用者数22,500人以上 (単位:人)	27,396	28,635	27,606	22,500	23,367	過去3年間の平均値(27,879人)に多目的ホールの天井工事(6ヶ月利用休止)を考慮した目標とした。	施設の宣伝広報と窓口での利用状況の把握と宣伝の励行。	天井工事で多目的ホールの利用者数は減少したが、他の部屋のほとんどが増加した。窓口での利用状況の把握、利用者への丁寧な対応による。	B:達成
2	市民	各種サービス別満足度	参加者満足度調査で「満足」以上の人の割合77%以上(単)	-	78	77	77	77	29実績の水準を維持。	利用者の満足度調査の実施。	利用者の多くがリピーターであることから、ほぼ満足されていると思われる。	B:達成
3	財務	利用者1人当たりのコスト縮減	利用者1人当たりコスト367円以下 (単位:円)	351	353	367	409	400	過去の実績の最下運営費額に設定した。(26実績9,203千円/22,500人)		多目的ホールの天井工事のため、利用者数が減少したものの、利用者の理解と協力、従事者の努力で管理運営費を節減したことから、コスト減となった。	B:達成
4	財務	管理運営経費の削減	年間管理運営費10,007千円以下 (単位:千円)	9,606	10,094	10,117	10,007	9,491	各種費用の点検と実践、施設利用者の理解。当初予算額以下の設定。	電気・ガス・水道使用料の削減の徹底を図る。	多目的ホールの天井工事のため、通常管理費等が節減できた。	B:達成
5	財務	歳入の増加	使用料収入1,900千円以上 (単位:千円)	2,039	2,375	2,447	2,050	2,122	当初予算(1,900千円)を超える目標値とした。	利用宣伝広報と窓口での利用状況の把握と宣伝の励行。	窓口での利用状況の把握と利用者への情報提供の推進で使用料が目標よりも増えた。	B:達成
6	業務	安全確保体制の確立	消防訓練を年2回実施 (単位:回)	2	2	2	2	2	AED導入後人口蘇生講習を定期的に実施。	避難訓練・通報訓練と人口蘇生講習を併せて定例化する。	避難訓練・通報訓練、人工蘇生講習を実施。	B:達成
7	業務	情報共有化	管理人との定期的な情報交換(単位:週/1回数)	1	1	1	1	1	情報交換を定例化に行って情報の共有化を図ることで問題点を早期に解消することに努める。		職員と従事者との情報の共有化を図り、業務を円滑に遂行した。	B:達成
8	人材	人材育成	コンプライアンス研修年2回実施(単位:回)	1	1	2	2	2	業務全般に法令順守意識を高めるとともに公正な職務の遂行を確保する。	窓口研修実施の内容として対応	コンプライアンス研修を実施。	B:達成
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
当施設は市民、勤労者の福祉の増進を図る施設であり、利用者の知識や教養の場を提供し、新たに営利目的の利用を可能にし、利用者満足度の向上を図るために利用者、稼働率の増、安全安心の施設運営を目標設定しています。	多目的ホールの天井工事のため、利用者数、利用者1人当たりのコスト縮減、歳入増加については厳しい状況のなか、窓口での利用状況の把握、利用者への情報提供、利用者間の情報共有の推進及び職員、従事者の情報共有化、丁寧な対応などで目標達成となりました。また、今後も施設管理委託業者の理解、協力を頂きながら、施設の改善を図り、利用者に満足して頂く施設を目指して、職員、従業員が協力していきます。